

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	終末期について研修や学習会は定期的に行っていたがまだ不安なことや理解しなくてはいけない所がある	職員は終末期について学び、ご家族とも話し合いを増やし、利用者さんが終末期を安心してグループホームで過ごしていただく。	・終末期についての外部研修に多くの職員が参加し、不安を解消し、理解する。 ・今後も終末期の学習会を開き、職員間で話し合う機会を増やしていく。	12ヶ月
2	4	運営推進会議は2ヶ月に1度定期的に行っているが、会議の内容、参加メンバーも工夫する必要がある。	会議の内容や出席者のメンバーを工夫し、事業所をより理解してもらうように努める。	・新しい参加者に声をかける。(今まで参加したことのない公的機関(社協など)) ・曜日や時間について工夫する。	6ヶ月
3	13	外部研修に各職員が参加はできているが、研修内容を伝える場がなかなか作れない。	外部研修の伝達ができる機会を増やし、各職員が共通した理解ができるようにする。	・定期的な伝達会議を増やす。 ・外部研修の参加前に事前学習をする。	6～12ヶ月
4	43・44	排泄コントロールが難しくなっている利用者が増えてきて、食事面や服薬について工夫が必要である。	利用者さんが排泄に困らないように食事面や服薬について気をつける。	・排泄コントロールが難しい利用者さんには排泄表を作成し、細かく排泄ペースを確認する ・便秘の時は医療機関や看護師と服薬について相談する。 ・食事や水分補給について工夫する。	6ヶ月
5					ヶ月
6					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。